

電気泳動用迅速CBB染色キット Rapid CBB KANTO



溶解・ろ過等の調製の手間を軽減！

2液等量混合タイプの調製液

染色感度・脱色効率が向上！

従来のCBB染色を改良し、
染色感度が向上し・脱色時間も短縮



CBB染色(Coomassie Brilliant Blue R-250染色)は、電気泳動後のタンパク質染色に一般的に用いますが、CBB染色液を自家調製する場合、溶解やろ過に長時間を要するなど手間がかかります。

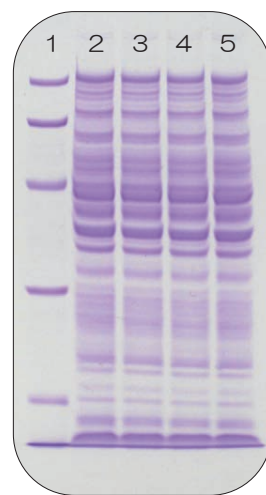
また、ろ過操作を省くと凝集した粒子により、染色ムラの原因となったり、染色・脱色効率も落ち時間がかかってしまいます。

本製品は、従来のCBB染色液に改良を加え、検出感度の向上、染色・脱色速度の向上を実現した調製済み2液混合タイプの染色液です。

2液タイプでのご提供により経時変化にも強くなっております。

もちろん、従来のCBB染色同様、脱色後にMS解析も可能です。

CBB染色の効率化・迅速化や、自家調製によるバラつきを抑えて、再現性の良いデータ取得のために、是非ご利用下さい。



Lane1 : 市販プロテインスタンダードマーカ
Lane2~4 : 大腸菌ライセート
(各レーン同量)

製品番号	製品名	規格	包装	価格
36535-96	Rapid CBB KANTO ラピッドCBB KANTO	電気泳動用	1キット (ミニゲル20枚用)	¥4,600

試薬の調製

◆染色液の調製：A液とB液を等量混合

例 ミニゲルサイズ(70×80×1mm)の場合、染色液 50mLが標準です。

A液 25mLとB液 25mLを秤量し混合します。

(ゲルに比べてトレイのサイズが大きすぎる場合、十分に浸らない場合があります。)

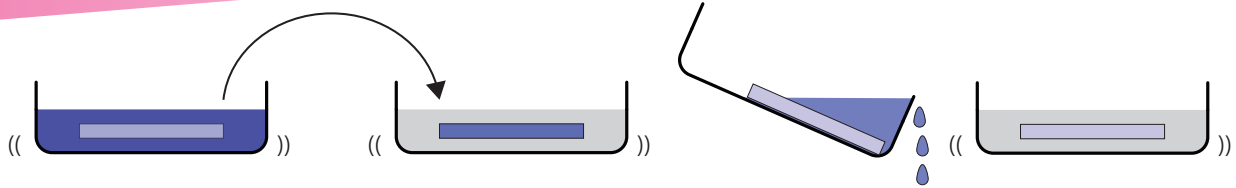
◆脱色液の調製：蒸留水：酢酸：メタノール=15：2：3で混合

例 ミニゲルサイズ(70×80×1mm)の場合、脱色液 100mLが標準です。

蒸留水 75mLと酢酸 10mLとメタノール 15mLを秤量し混合します。

(蒸留水・酢酸・メタノールはキットに含まれておりません。別途ご用意ください。)

標準操作方法



1) 染色液を容器に入れ、泳動後のゲルを浸し10分間振盪

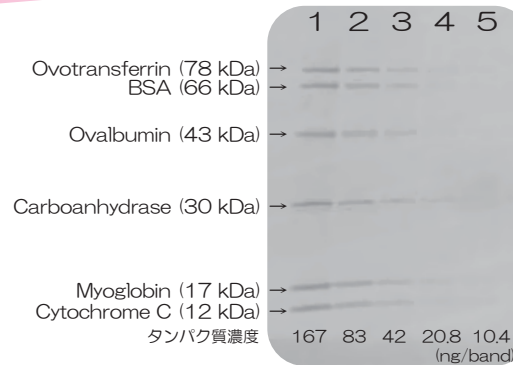
2) 別の容器に脱色液を入れ、染色したゲルを浸し、20分間振盪

3) 脱色液を捨て蒸留水を注ぎ20分間以上振盪

染色例

SDS-PAGE後、本試薬にて染色し、脱色後、ゲル撮影装置(モノクロ)で撮影。サンプルはプロテインスタンダードを1レーン目から2倍希釈列でアプライ。

Lane1~Lane5：プロテインスタンダード 2倍希釈列



関連製品

製品番号	製品名	規格	包装	価格
01076-08	30(w/v)% アクリルアミド/ビス(37.5:1)溶液	電気泳動用	500mL	¥9,500
36507-79	10×SDS-PAGE泳動用緩衝液	電気泳動用	1L	¥5,300
37937-96	シルバーステイン KANTO III	電気泳動用	1キット (ミニゲル40枚分)	¥14,000

- 本記載の製品は、試薬(試験、研究用として用いる化学薬品)としての用途にご利用ください。 ● 本記載価格に、消費税等は含まれておりません。
- 本記載の製品情報は予告なく変更する場合があります。最新情報は、弊社ホームページ「Cica-Web」をご確認ください。



関東化学株式会社

試薬事業本部 試薬部

103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号 (03) 6214-1090
541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目3番11号 (06) 6231-1672
812-0007 福岡市博多区東比恵2丁目2番3号 (092) 414-9361

<< <http://www.kanto.co.jp> >>